

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)

【公表番号】特表 2019-510731 (P2019-510731A)

【公表日】平成 31 年 4 月 18 日 (2019.4.18)

【年通号数】公開・登録公報 2019-015

【出願番号】特願 2018-528557 (P2018-528557)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/765 (2006.01)

A 6 1 K 47/60 (2017.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

A 6 1 P 31/16 (2006.01)

A 6 1 P 31/22 (2006.01)

A 6 1 P 31/14 (2006.01)

A 6 1 P 31/20 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/20 (2006.01)

A 6 1 K 9/10 (2006.01)

A 6 1 K 9/14 (2006.01)

C 0 8 F 16/34 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/765

A 6 1 K 47/60

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/18

A 6 1 P 31/16

A 6 1 P 31/22

A 6 1 P 31/14

A 6 1 P 31/20

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/20

A 6 1 K 9/10

A 6 1 K 9/14

C 0 8 F 16/34

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 19 日 (2019.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アクロレイン由来セグメントおよびポリアルキレングリコールオリゴマーセグメントを含み、1000 ダルトン以下の分子量を有する共重合体を含む、対象における非経口ウイルス感染症の治療のための組成物。

【請求項 2】

前記アクロレイン由来セグメントは、2以上のアクロレイン残渣を含むポリアクロレインオリゴマーである、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記共重合体は、300～1000ダルトンの分子量を有する、請求項1または2に記載の組成物。

【請求項4】

前記ポリアルキレングリコールオリゴマーセグメントは、200～600ダルトンの範囲の分子量を有する、請求項1から3のいずれかに記載の組成物。

【請求項5】

前記ポリアルキレングリコールオリゴマーセグメントは、200～400ダルトンの範囲の分子量を有する、請求項1から4のいずれかに記載の組成物。

【請求項6】

前記ポリアルキレングリコールはポリエチレングリコールである、請求項1から5のいずれかに記載の組成物。

【請求項7】

局所投与用である、請求項1から6のいずれかに記載の組成物。

【請求項8】

全身投与用である、請求項1から7のいずれかに記載の組成物。

【請求項9】

経口投与用、吸入用、経皮送達用、または注射用である、請求項1から8のいずれかに記載の組成物。

【請求項10】

経口投与用である、請求項1から9のいずれかに記載の組成物。

【請求項11】

循環系または血流への注射用である、請求項1から10のいずれかに記載の組成物。

【請求項12】

0.01重量%～20重量%の範囲の水溶液としての投与で使用される、請求項1から11のいずれかに記載の組成物。

【請求項13】

錠剤、カプレット、シロップ、または液体の形態で経口投与用に使用される、請求項9に記載の組成物。

【請求項14】

前記共重合体は、1日1あたりに体重1kg当たり1mg～1000mgの範囲の用量で、全身投与用に使用される、請求項1から13のいずれかに記載の組成物。

【請求項15】

前記ウイルス感染症は、インフルエンザウイルス、HIV、肝炎、ロスリバー、およびヘルペスからなる群から選択される、請求項1から14のいずれかに記載の組成物。

【請求項16】

前記ウイルス感染症は、インフルエンザである、請求項1から15のいずれかに記載の組成物。